



Weekly Report



クラブテーマ 「和の心」で 笑顔あふれるロータリー活動を

2024-2025 小林 篤 年度 第 11 回

通算 2853 例会

令和 6 年 10 月 10 日(木)
10 月第 2 例会

本日の例会

例会場 料亭ふな又
点鐘 12:30
テーマ 部門セミナー報告
主管 会長・幹事

- ・ロータリーソング
奉仕の理想
- ・四つのテスト・ロータリーの目的
中村 正 会員

次回例会案内

令和 6 年 10 月 17 日(木)

例会場 料亭ふな又
点鐘 18:00
テーマ 作文コンクール表彰

2024-2025 年度

岩槻ロータリークラブ

会長 小林 篤
幹事 内藤 明
会報・広報・IT委員長 樵 康史
例会場 ふな又
例会日 木曜日
点 鐘 第 1・第 2 12:30
第 3 18:00

クラブ事務所

さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203
TEL 048-758-0680
FAX 048-758-0681
MAIL info@iwatsuki-rotaryclub.jp



会長挨拶

第 62 代会長 小林 篤

皆さん、こんにちは。

先週行われましたガバナー公式訪問例会は、皆さまのおかげで大変素晴らしい例会となりました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。ガバナーも非常に気さくで親しみやすい方であり、クラブの皆さんともすぐに打ち解けてくださった印象を受けました。

例会前の懇談会では、主に会員増強に関するお話が中心となりました。現在、岩槻ロータリークラブは会員数 30 名を目標としておりますが、ガバナーからは「目標としては素晴らしいことですが、少し低すぎます」とのご指摘をいただきました。2770 地区の歴史的な話として、田中作次氏が RI 会長を務めた時代、世界で最も会員増強に成功した地区がこの 2770 地区であったとのこと。当時のガバナーやガバナー補佐には、毎朝 7 時頃になると田中 RI 会長から「今週は何人増強できそうか」と直接電話がかかり、かなりのプレッシャーを感じていたそうです。その厳しい姿勢が嫌われることもあったと、ガバナーは冗談交じりにお話されていました。

また、岡村ガバナーが川口ロータリークラブの会長を務めていた時には、当時の中川ガバナーから「絶対に会員数を 100 名にしない。そうでなければ公式訪問例会には伺いませんよ」と厳しい指導を受けたそうです。その後も、中川ガバナーからは毎週のように「今週は何人増強したか？」と執拗に連絡があり、途中からは電話に出ることを控えざるを得なかったと、笑いながら語られていました。

岡村ガバナーからは、私たち岩槻ロータリークラブに対しても「会長の熱意が足りない。もっと全員を巻き込んで会員増強に取り組んでください」との熱いアドバイスをいただきました。春日部南クラブはすでに 8 名の会員増強を達成しているとのこと。他クラブとの競争意識はありませんが、岩槻ロータリークラブとしても、3 か年戦略計画のビジョンに沿って、さらに強く大きなクラブを目指して邁進してまいります。

毎回お願いしておりますが、皆さまのご協力が必要不可欠です。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

さらに、今年度も RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会) 研修会が開催される予定です。RLI とは、ロータリークラブを強化するために、質の高いリーダーシップ教育を提供する地区のリーダーシップ開発プログラムです。私は昨年、地区の RLI 運営委員会に出席させていただきました。そこでの主な役割は、会場設営とファシリテーターグループの幹事的な業務でした。ファシリテーターは、参加者に指導する役割を担っており、そのために多くの準備や勉強、打ち合わせを行い、大変な努力をされています。彼らの姿を間近で見て、その重要性和難しさを改めて実感いたしました。

私自身も、RLI 運営委員としての役割を果たしつつ、実際に研修会に参加させていただきました。この研修では、ロータリーの基本理念や活動の基礎を学ぶことができるだけでなく、他クラブの参加者とも親交を深め、地区全体に友人を作ることができました。非常に有意義な経験ですので、皆さまにもぜひ受講をお勧めいたします。

最後に、来週は青少年作文コンクールが開催されます。この例会では、岩槻区長や岩槻区中学校校長会長、さらには作文コンクールの入賞者の方々がご参加される予定です。現在、委員会メンバーも熱心に準備を進めております。ぜひ皆様もご出席いただき、盛り上げていただければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。以上をもちまして会長挨拶とさせていただきます。改めてありがとうございました。



幹事報告

幹事 内藤 明

- 第 2770 地区より能登半島豪雨災害支援金のお願いが届いています。
- 第 2770 地区より 11 月 17 日地区大会において職業奉仕部門交流会開催の案内が届いています。
- 第 2770 地区より地区大会記念ポリオ根絶チャリティゴルフコンペ組み合わせ及び開催要領が届いています。参加者には後程配布いたします。
- 浦和ダイヤモンドRCより創立 30 周年記念コンサートへの協賛のお願いが届いています。
- 大宮西 RC、大宮北東 RC より週報が届いております。
- 岩槻高等学校より岩校祭協賛金の御礼が届いています。
- 10 月 10 日、11 日午後 4 時より岩槻高校インターアクトクラブが岩槻駅において赤い羽根共同募金活動を行います。お手伝いできる方は参加よろしくお願いいいたします。



委員会報告

会員増強委員会

本日の 14 時から理事会終了後、会員増強委員会を行います。議題としましては、

- ・新会員歓迎会日時の件
- ・新会員候補者リストの見直しと追加の件

皆様がお持ちの情報がありましたら、例会後に委員会までお伝えください。1 人でも多くの会員を増やしていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

委員長 鈴木真樹



2024-25 年度地区部門セミナー報告

●米山記念奨学部門

会長 小林 篤

開催日 8 月 10 日

参加者 小林篤会長 内藤明幹事



米山奨学会

日本のロータリーの父である米山梅吉氏の死後、その偉業を称えて東京ロータリークラブが設立しました。

- ① 日本のロータリー独自の事業
- ② 日本で学ぶ外国人留学生の支援
- ③ 世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視

勉学または研究のために来日し、日本の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、ロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的としています。

将来、日本と世界を結ぶ架け橋となつて国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが奨学事業の使命です。



米山梅吉

明治から昭和時代前期の銀行家、貴族院勅選議員、青山学院財団常任理事。旧三井銀行の経営中枢に携わり、また、日本にロータリークラブを初めて設立した。

寄付金の種類

RI2770地区の目標は

普通寄付金

- ✓ 財団法人設立時の約束
- ✓ 奨学会の安定財源
- ✓ 5,000円×会員数

特別寄付金

- ✓ 個人・法人・クラブからの任意寄付
- ✓ 1円～OK！表彰対象
- ✓ 20,000円×会員数

表彰制度【個人寄付】

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	
10万円	第1回米山功労者	感謝状
20万～90万円	(以降10万円毎に) 第2回～9回 米山功労者マルチブル	感謝状 +50万円のみピンバッジ (銀色)
100万 ～390万円	第10回～ 米山功労者 メジャードナー	感謝状 +100万円毎にピンバッジ (金製)
400万円～		感謝状 +100万円毎にクリスタル盾



▲50万円の表彰品 (ピンバッジ)

クラブ会長・米山委員長様へのお願い

— ご注意いただきたいこと —

- ◆ 世話クラブ選考の寄付実績は「当該年度」を含む 2 年半なので 7 月～12 月未までの寄付が有利です
※当該年度の会長・米山委員長の努力 (7～12 月) が、当該年度中 (4 月からの奨学生) に反映されます。

なお、普通寄付も年払が可能ですが (半期でなくても可)

- ◆ 特別寄付者割合はあくまでも「%」なので、例え一人 100 円でも全員が出せば 100% です

- ◆ ① 入学式 ② 感謝の集い ③ 修了式に、世話クラブから誰も出席しなかった場合、得点から 20% 減額します
(あまりお世話をしただけでないクラブとみなし、他の熱心あるクラブに権利を譲っていただきます)

10 月と 3 月の米山月間 奨学生卓話について

世話クラブ以外の皆様へ

奨学生にとつても例会卓話はロータリアンとの相互理解に大変良い機会です。ぜひ積極的に依頼をお願いいたします

世話クラブの皆様へ

10 月の米山月間に備え、部門では 9 月 14 日 (土) に卓話研修を行います。ぜひ以降の 9 月のクラブ例会で、他クラブへ行くときの「練習」の機会をつくり内容のアドバイス等をしてあげてください。また、他クラブへ行くとき、メーカーキャップで「応援団」にいくクラブもたくさんあります

【卓話の内容】

- ◆ 人となりや、母国や故郷、家族のこと、◆ 研究のことは簡単に (会員は素人)
- ◆ 将来の希望のこと。希望が叶うと母国の価値が高まること。その結果日本との関係はどうなるか。世界の発展と平和に貢献できるか。◆ 奨学生になって自分とどんな変化があったか (会員が共感できる卓話が望ましい)

岩槻 RC では、本年度の会費と一緒に 1 人 20,000 円を米山特別寄付としてお預かりし、米山奨学会へ送金させていただきましたので地区目標は 100% 達成いたしました。

●青少年奉仕部門

副会長 田畑寛樹 幹事 内藤 明

開催日 8月17日

参加者 小林篤会長 田畑寛樹副会長 内藤明幹事



第2770地区青少年奉仕部門・ローターアクト特別推進委員会合同セミナーでは、岡村ガバナーの点鐘に始まり、黒白青少年奉仕部門委員長、並びに内山ローターアクト特別推進委員長のご挨拶の後、基調講演として、講師にニコール・ジョイ・マグネヴィン氏をお迎えし、「『平和』の定義」についてお話を頂きました。ニコール氏は国際基督教大学で、地方の日本の若者に国際プログラムや留学をよりアクセスしやすくする方法を研究しており、ロータリーのプログラムに大変参考になる講演でした。

また地区ローターアクト、交換留学生、インターアクトの方々から活動報告や体験発表を頂きました。最後に、参加者によるグループディスカッションに取り組みました。

ローターアクト特別推進委員会 Rotaract Rotary Club Partner

★ 目的

ローターアクト特別推進委員会は、「Elevate Rotaract Task Force」ローターアクト地位向上を目的とする委員会として、今年度より発足しました。アクトに寄り添ったアクトの柔軟な発想を引き出し「未来を見据えて変化しよう」の今年度地区運営方針に則り活動を進めていきたいと思ひます。

★ 活動方針

1. ローターアクトの基盤を広げる
 - 1) ローターアクト定款細則の見直しと改定、および運営マニュアルの作成
 - 2) 会計マニュアルの作成とアクトクラブ独自の会計処理の実施
 - 3) スポンサークラブとの連携強化
 - 4) アクトクラブの活性化と会員増強
2. 合同奉仕事業の実施

地区補助金特別枠を利用した地区内すべてのローターアクトによる合同奉仕事業の実施
3. 新たなローターアクトクラブの新設

大学基盤、地域社会基盤それぞれの新たなローターアクトクラブの新設を図る
4. 研修会の実施

指導者講習会、会長幹事会にてロータリーの基礎知識等の研修会を行う
5. 各部門との連携

青少年奉仕部門の青少年交換学生、インターアクトやRYLAの参加者をはじめ米山奨学部門、会員増強部門、国際奉仕部門、社会奉仕部門、ローター財団部門など多くの部門との連携をさせて頂きたいと思ひます。



★ インフォメーション

・事業名

埼玉子ども食堂プロジェクト

日時：2024年11月10日(日) 10:30～16:00

場所：大宮緑塚公園

目的：地域の子どものための健やかな育成と、そのために地域交流に貢献できる機会とする。また幅広く多くの方々に子ども食堂の必要性、重要性を認識してもらふ事を目的とする。

- 第36回地区年次大会のご案内
- 2025年4月5日(土)
- 大宮ソニックシティ国際会議室



RYLA委員会



★ 目的

「リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい……」そんな考えを実現するための第一歩となるのが、若い世代を対象とした短期集中型の「RYLA=Rotary Youth Leadership Awards ローター青少年指導者養成プログラム」です。学生、社会人を問わず、RYLA受講生は、自分の可能性を発見し、地域社会やキャリアを通じて、又生涯を通じて、リーダーとして指導力を発揮していくのに必要なスキルを楽しみながら身に着けることが出来ます。

★ 活動方針

今年度の活動は、RYLAの原点を見直す機会とします。

目的に沿ったプログラムの実施、受講者のニーズをよりの確にするため、対象年齢を絞り込み、青少年と接する際の行動規範に基づき、青少年の安全を守るために危機管理に最善を尽くした「テーマ・研修プログラム・開催場所」を検討します。第2770地区RYLA委員会が実施するこのプログラムは、ローターと関わりのある青少年、ローターアクト・ROTEX・米山奨学学生・学友など、国籍や性別、年齢問わず多様な人達との交流により「奉仕の心」「リーダーシップ」「社会貢献の意識」を共有し、意見を交わし、知恵を出し合いながらゴールを目指す。その過程で、受講生にとってリーダーシップについて考え、実感し、発揮できるようなプログラムを考えます。

インターアクト委員会



★ 目的

国際ローターが定める第5の奉仕である青少年奉仕の中で12歳から18歳の青少年を対象とするのがこのインターアクト委員会です。

インターアクトとは「Inter action(国際的活動)」を意味しており、大きく下記の2つのことを目的としています。

- 地域社会の発展(地元でのボランティア活動)
- 世界に友だちを広げながらボランティア精神と国際感覚を身につける。



★ 活動方針

インターアクトクラブを活性化させるために、活動に対して、熱心にサポートするロータリアンが存在して初めて実現されます。インターアクトクラブを提唱しているロータークラブのロータリアン一人一人が、奉仕に対する熱い想いを持ち、子供達に伝え、接することが非常に大事になってきます。従いましてインターアクト委員会では、今一度インターアクト事業は素晴らしいものなんだという理解を深めてもらい、提唱ロータークラブを増加させることを目標に活動してまいります。

★ 活動

- ・インターアクト年次大会、インターアクト協議会の開催支援と参加推進(学校側、特に顧問教師会との連携の強化推進)
- ・観光第3750地区インターアクトとの交流事業



★ インフォメーション

- ・インターアクト協議会、韓国インターアクト訪日団歓迎会
訪日団日程2025年2月8日(土)～13日(木)
- ・インターアクト協議会2025年2月11日(火)
(さいたま市産業文化センター)
- ・インターアクト訪韓団
訪韓団日程2025年3月22日(土)～27日(木)



青少年交換委員会



★ 目的

ローター青少年交換はRIが推奨するプログラムです。約1年間の交換留学の機会を開くことができる素晴らしい経験ができるプログラムです。この期間では、スピーチの経験、礼儀作法を学び、また、ロータークラブの例会や奉仕活動に参加することで、他の留学では経験できない大きな特徴だと思ひます。第2770地区では、歴史があり、これまで地区内のクラブ関係者、ホストファミリー、委員会委員、ROTEX(青少年交換学友)など多くの方々に支えられて来た事業です。



★ 活動方針

ローターが青少年交換事業を通して、最も大切な本質は何かを理解し派遣学生および来日学生のスムーズな派遣・受け入れをめざします。派遣候補生募集・選考・オリエンテーションにより効果的なものにするため危機管理を徹底(4Dルール、ハラスメント等)スポンサークラブ、カウンセラー、ホストファミリーと情報を共有しながら交換相手国・地区との継続的なリレーションシップを行っていく。ROTEX活動(来日学生の日本語スピーチの充実や日本文化体験など)を支援し派遣候補生が、オリエンテーションから帰国までの成長過程を動画により記録を残します。

★ 留学は出会いと感動

ロータリーの青少年の育成を支援するプログラムは多種多様です。その一つ、ローター青少年交換事業です。一年間の留学は、学校生活やボランティア活動を通して彼らの人間性の向上を目指します。また、私たちはROTEXと共に彼らが経験した内容を生かして、来日生に近い目線で支援をして行きます。ロータリアンの皆さん、派遣生および来日生がワクワクドキドキするようなアドベンチャーを伝えるきっかけとして、何時でも卓話や出張例会等に呼んでいただき、地区とクラブが元気になるよういっしょに盛り上げて行きましょう。

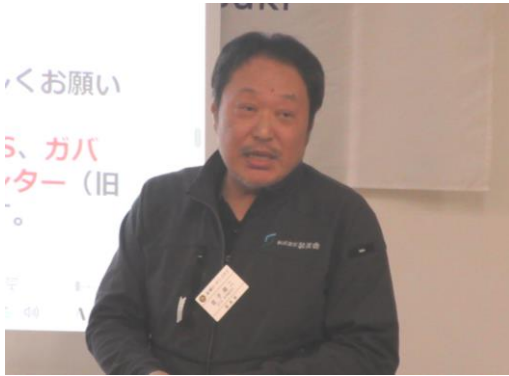


●国際奉仕部門

社会・国際奉仕委員長 金子委員長

開催日 9月13日

参加者 小林篤会長 内藤明幹事 金子英二委員長



スマイルBOX

メンバー（50音順・敬称略）

- 金子英二 よろしくお願ひします。
- 小林 篤 本日部門セミナー-報告です。よろしくお願ひ致します。
- 駒澤あい 本日もどうぞよろしくお願ひ致します。
- 鈴木真樹 本日も宜しくお願ひします。
- 関根信行 本日は宜しくお願ひいたします。
- 田畑寛樹 親愛なる皆様、こんにちは。先日はガバナー公式訪問誠にお楽しみ様でした。富田会員、入会早々例会1時間前から参加と素晴らしいなと思ひました。金子委員長、卓話とても楽しみにしておひります。本日も何卒宜しくお願ひ申し上げます。
- 富田友輔 本日も宜しくお願ひ致します。
- 内藤 明 本日のセミナー報告よろしくお願ひします。
- 中村 正 セミナー報告よろしく
- 原田晃博 本日は宜しくお願ひ致します。
- 松永 豪 本日も宜しくお願ひ致します。
- 三浦宣之 本日は宜しくお願ひします。
- 村上 泉 本日も宜しくお願ひします。

グローバル補助金を利用した国際奉仕事業の事例

プロジェクト名 神経発達障害のマルチセラピーセンターの設立プロジェクト
 補助金番号 GG2458872
 実施(相手)国 ディンディガルRC (インド第3000地区)
 支援国 大宮東RC&上尾西RC (日本第2770地区)
 重点分野 疾病予防と治療
 協力組織 クリスチャンフェローシップ病院
 総予算 \$60,400

プロジェクト概要
 神経発達障害は、人口のかなりの部分に影響を及ぼし、個人とその家族に影響を与えます。これらの障害には、自閉症スペクトラム障害(ASD)、注意欠陥/多動性障害(ADHD)、知的障害(ID)などの状態が含まれ、個人の認知的、社会的、感情的な発達に大きな影響を与えます。この提案された治療ユニットは、評価、治療、教育、および研究を通じて、これらの障害の影響を受ける個人および家族の生活を改善することを目的としています。

【グローバル補助金の要件】

- ① 7つの重点分野のいずれか一つ以上に属すること。
- ② 持続可能かつ測定可能な成果をもたらすこと。
- ③ 3万ドル以上の、大規模なプロジェクト。
- ④ 基本的には、実施国にロータリークラブが存在する。
- ⑤ 実施地側の地域社会が特定したニーズに取り組む。
- ⑥ 事前に地域調査を実施し、その結果を補助金申請書に含める。
- ⑦ 実施地側の地域社会の人々が積極的に参加する。
- ⑧ 現地の人々の知識とスキルを高め、リソースをもたらす。
- ⑨ ロータリアンが積極的に参加する。

【グローバル補助金を利用した国際奉仕事業の予算】

神経発達障害のマルチセラピーセンターの設立プロジェクト
 総予算 \$60,400 (約¥10,000,000円弱)

支援国側予算	第2770地区財団活動資金 (DDF) \$15,000
\$29,000	国際財団活動資金 (WF) \$12,000 (DDF×0.8)
	大宮東RC拠出金 (現金) \$1,000 (+手数料5%)
	上尾西RC拠出金 (現金) \$1,000 (+手数料5%)
	実施国側予算
\$31,400	第3000地区財団活動資金 (DDF) \$10,000
	国際財団活動資金 (WF) \$8,000 (DDF×0.8)
	ディンディガルRC拠出金 (現金) \$13,400 (+手数料5%)

【国際奉仕事業(相手のRC)を見つけるには?】

- 奉仕プロジェクトセンター (旧ロータリーショーケース) の活用
- 世界中の国際奉仕事業の事例やオファー
- 姉妹・友好クラブとの共同プロジェクト
- 交流⇄共同国際奉仕プロジェクトへ (双方向の発展性)
- 米山奨学生や海外10か国の米山学友会
- アジア諸国に広がるネットワーク (日本語が通じる)
- ガバナーやガバナーエレクト等
- 国際大会や国際協議会等での情報交換 (世界各国)
- 他クラブに相乗り
- とにかくやってみて繋がりを広げる



出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
22	12			52.17%

スマイル報告	
本日のスマイル合計	19,000円
年間累計額	346,000円